

第1学年2組 算数科学習指導案

平成30年9月20日(木) 場所 1年2組教室 指導者

1 単元 よみとるさんすう <2時間完了>

2 目標

- (1) 身近な題材と算数との関わりに関心を持ち、既習事項を使って問題を解決しようとする。(関心・意欲・態度)
- (2) 必要な情報を選択して、問題を解決することができる。(数学的な考え方)

3 構想

本学級の児童は、「今日は算数が2時間あるよ。やった」と言うくらい、毎日の算数の授業を非常に楽しみにしている。しかし、授業中の様子を見てみると、簡単な計算問題には一生懸命取り組むが、文章題や問題作りになると手が止まったり、よそごとをしたりする子が少なくない。多少複雑な問題に出合ったときに、どうしたらよいか考え、解決しようとする努力する子を育てたい。

本単元では、長い文章の中から必要な情報を選び、式を立てて計算をする。児童は生活科の学習で、あさがおを育てている。1学期には、今までに咲いたあさがおの花の総数を数えたり、友達の数と比べてたりと、あさがおと算数を結びつけて考える姿が見られた。これを踏まえて本単元では、児童にとって身近なあさがおを題材として扱い、もっと解きたいという思いや、あきらめずに考えようとする意欲へとつなげたい。前時には、たし算やひき算の立式をするときの流れをフローチャートに表し、思考を整理した上で、絵を見て式に表す活動をする。本時では、前時よりも難易度の高い、長い文章から式を立てるミッションに取り組む。ミッション形式やフローチャート、「文章→写真→式」という段階を踏んだ授業の流れを通して、長文などの資料から解決に必要な情報を選択し、手順を考えて解決する力を身につけさせたい。

4 単元計画 2時間

段階(時間)	子供の学習活動	教師の支援
1	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">あさがおのえをみてミッションをクリアしよう</div> <ul style="list-style-type: none"> ・生活科で育てたあさがおだね。 ・たし算言葉やひき算言葉って、どんなものがあったかな。 ・ミッションを解く手順をフローチャートにまとめると見やすいね。 	<ul style="list-style-type: none"> ・文章から式を作る練習として、絵から式を作るミッションをたくさん用意する。 ・児童から出た言葉を用いてフローチャートを作成し、常に掲示しておく。
2(本時)	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">スペシャルミッション「あさがおのかずをしらべよう」</div> <ul style="list-style-type: none"> ・長い文章だと、読みにくいよ。 ・どの文が必要かを考えて、いらぬ文章を外せば、すっきりして見やすいね。 ・必要な写真がどれなのか、探せばいいのかな。 ・困ったらフローチャートを見れば、手順がすぐに分かるね。 	<ul style="list-style-type: none"> ・つまづいている児童にはミッションに書かれた人名が日記の人名とリンクした色で印刷されたプリントをヒントとして渡す。

5 本時の学習指導

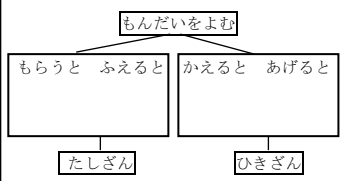
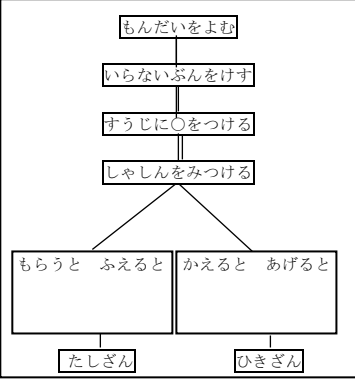
(1) 目標

問題を解決するために必要な情報処理の仕方を理解することができる。(知識・理解)

(2) 目標に迫るための手立て

長い文章への抵抗感を減らせるように、児童に親しみのあるあさがおや、友達の名前が書かれた日記を用いて、段階を踏んだミッション形式にする。

(3) 展 開

段階	子供の学習活動	教師の支援
つ か む (7)	<p>1 フローチャートを用いて、たし算言葉、ひき算言葉の復習をする。</p> <p>2 前時の続きとして、ミッション7を解く。 「たつきさんのあさがおは、5こさきました。たつきさんのあさがおはどれでしょう。」</p> <ul style="list-style-type: none"> あさがおの写真がたくさんあるよ。 はなが5こさいている写真はどれかな。 <p>3 教師が書いたあさがお日記を読む。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 児童の思考を整理するために、前時に作ったたし算やひき算をするときの流れをフローチャートにまとめたものを提示する。 花の数が異なるあさがおの写真を、いくつか掲示しておく。 探検バックを持って、教室を自由に動いてよいことを伝える。 
深 め る	<p>スペシャルミッション「あさがおのかずをしらべよう」</p>	
(28)	<p>4 日記を見て、本時のミッションを知る。</p> <p>(1)「たくとさんとりおなさんの花の数を合わせると、何個になりますか。」</p> <p>5 ミッションを解くための手順を考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> 使う文だけにすれば見やすいね。 数字に○をうったらいと思う。 写真があった方が分かりやすくていいな。 <p>(2)「たいきさんとりおなさんの花の数を合わせると、何個になりますか。」</p> <ul style="list-style-type: none"> さっきと同じようすれば、できそうだよ。 これは、たくとさんの文は使わないんだね。 <p>(3)「たくとさんの花は、たいきさんの花よりも、何個多いですか。」</p> <ul style="list-style-type: none"> 問題が今までと少し違うね。 「なんこおおい」はひき算だったね。 使わない文もあるから、どの文を使えばいいか考えながら日記を読めばいいんだね。 	<ul style="list-style-type: none"> 全員が意欲的に取り組めるよう、集中力に欠ける児童や、算数に苦手意識のある児童の名前を挙げた日記を提示する。 長文への抵抗感を減らすため、文章に合う写真を見つけてから、ミッションに取り組むように手順を工夫する。 「ミッションをクリアするにはまず何をすればいいかな」と問い、「いらぬ文を消す」「数字に○をつける」といった工夫の意見が出たら取り上げて称賛し、フローチャートの手順の項目を増やして提示する。 (3)では、再度フローチャートを見ながら、たし算言葉とひき算言葉を復習する。 
広 げ る (10)	<p>6 練習問題を解く。</p> <p>7 本時の振り返りを発表する。</p> <p>・文章から写真を探してから式にすると、考えやすくなるということが分かりました。</p> <p>・どの文章が必要なのか考えて式にすることが大切だと分かりました。</p>	<ul style="list-style-type: none"> つまずいている児童が正解にたどりつけるように、ミッションに書かれた人名が日記とリンクした色で印刷されたプリントをヒントとして渡す。 あさがおの数だけを変えた日記で問題を解くことで、本時の学びを確認する。 最後に「3人のあさがおを全部たしたら何個になるかな」と問いかけ、3つの数の計算への意欲につなげる。

(4) 評 価

多くの情報の中から必要な情報を選択し、問題解決に至るまでの流れを理解して活用することができたか。

(活動4, 5の様子や振り返りから)